

事例の概要

雇用の場の減少が続く中、コミュニティビジネス等の創業を志す市内外の人材を発掘・誘致し、その活動や創業を支援する仕組みの構築を通じて、過疎地域において慢性的に不足している人材を確保し、地域（経済）の持続可能性が担保される環境をつくる。



＜一次審査会＞



＜二次審査会＞

事例の内容

事業内容

ビジネスプランコンテストの開催（開催経費、情報発信経費等）
（NPO法人に委託）

総事業費

平成23年度 4.7百万円
（うち過疎債 2.3百万円）
（別途基金積立2.1百万円）

市内外から23件の応募があり、下記3プランの受賞者決定（H23）
①耕作放棄地で栽培した野菜を提供する農家レストランの運営等
②島根ツアー開催、地元学生等と連携したコミュニティカフェ運営等
③西洋野菜を活用した惣菜店の運営と栽培方法の普及・指導

事業の効果

当コンテストを契機に創業支援・人材育成を目的とするNPOを設立し、受賞者は同NPOが受け皿となって市へ移住。
また、人材確保を目指した同様の手法が、県内各地域に波及しており、一種のブームが生まれている。

ポイント

- コンテストを契機に機運が高まり、創業支援・人材育成を目的としたNPO法人が設立された。（H23.4.1）
- コンテストにおいて落選した応募者に対しても、創業に係る支援メニューの情報提供、フォローアップを行っている。
- 創業受賞者が市内で事業継続ができるよう、関係機関（商工会議所等）による連携・支援体制を構築したこと。

【主な支援内容】

- ・起業勉強会を開催し、専門家がアドバイス
- ・チャレンジショップ（試行場所の提供）



＜受賞者の方々＞